

横土計 第 15 号
平成 20 年（2008 年）10 月 20 日

国土交通省 道路局長 様

横須賀市長 蒲 谷 亮 一



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

秋冷の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

貴職におかれましては、日頃より本市の道路行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本市におきましても、都市の調和ある発展のため、身近な道路の利便性向上はもとより、交通に関する地域の課題を解決すべく様々な施策に取り組んでいくところです。

さて、平成 20 年 9 月 19 日付でご依頼のありました「今後の道路行政についての意見・提案の提出」につきまして、別添のとおり回答致しますので、宜しくお取り計らい下さいます様、お願い申し上げます。

事務担当：横須賀市土木みどり部交通計画課 菅原、羽布津

TEL：046-822-9526 FAX：046-822-4118

MAIL：trp-pw@city.yokosuka.kanagawa.jp

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

神奈川県 横須賀市

○既存ストックの有効活用について

・有料道路の利用率向上に資する取り組みについて

一般有料道路が整備され便利になる一方で、供用後の料金の額がネックとなり利用率が上がらないという現状がある。一般道路の混雑緩和に資するため、横浜横須賀道路など有料道路の料金値下げに関する国による支援等の取り組みについてより一層の推進を望む。

・既存国道における拡幅整備の推進について

新設道路の整備も重要であるが、渋滞緩和など交通円滑化に資する既存道路の交差点改良や拡幅整備の重要性も依然高いものがある。都市部における既存国道の円滑化に資する施策のより一層の事業促進を望む。

・スマートＩＣ制度実施要綱の対象路線の拡大について（一般有料道路への範囲拡大）

スマートＩＣは従来のインターチェンジに比べて低コストで導入できるなどのメリットがあり、渋滞緩和、アクセス性の向上並びに利便性の向上などその効果が大いに期待される場所である。実施制度要綱における設置可能な対象路線について一般有料道路までの拡大を望む。

○補助制度の拡充、改善について

・国庫補助制度の改善について（維持管理費並びに電線類地中化における補助金制度の拡充等）

多くの市町村の道路関係予算は恒久的に発生する維持管理費が多くを占めており、今後も施設の老朽化が一段と進むなかで、維持管理の現場はますます厳しい対応が迫られることが予想される。そこで維持管理費における補助金制度の拡充や充当財源の大幅な見直しなど、より一層の改善を望む。

防災上からもバリアフリーの観点からも電線地中化事業は欠かせない事業であり、今後も積極的に進めていかなければ成らないが、事業コストが高いことや、関係機関との協議に時間を要すなど、昨今の財政状況では事業を継続することが困難になってきている。地中化整備延長を延ばすためにも新たな補助の制度の確立を望む。

・新たな道路の評価基準について

道路の役割として単に交通量を捌く為（トラフィック機能）だけの機能から、防災はもちろん景観機能並びに歩行者空間としての沿道アクセス機能など、道路に求めるその役割や利用形態も多様化してきている現状がある。そのため事業評価について現状の費用便益費中心の指標のほか、新たな視点による評価指標の基準作りを望む。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

神奈川県 横須賀市

○現状	○課題
<u>半島性の地形などによる制約について</u>	
●傾斜地が多く、平坦地が少ない地形的な制約と東京湾岸の港湾機能、産業の集積を中心にまちが発展。	・幹線道路、鉄道などの主要交通路が東京湾岸に偏っている。 ・市内中心部では慢性的な交通混雑により産業・経済活動が阻害されるなど地域活性化の阻害となっている。
●広域交通から生活交通までの多様で大量な交通が一部の幹線道路に集中し、通勤通学時、観光シーズンに激しい交通混雑、渋滞が発生。	・一部の幹線道路の激しい混雑、西地域では公共交通が不便。 ・路線バスの定時性が確保出来ていない。
●都市間並びに都心アクセス性が脆弱	・主要高速道路や都心へのアクセス性が弱く、企業撤退、企業進出意欲抑制の一因となっている。
●災害に強い道路整備が出来ていない	・谷戸や丘陵上部では地形の制約上道路が少なく、狭いため、地域の生活も不便で、防災的に問題のある地点が点在している。 ・災害時における速やかに避難が可能な経路や誘導案内の整備が不十分である ・半島性や起伏のある地形のため、都市間連絡道路が特に脆弱であり災害時の対応（応急物資の輸送等）に危惧がある。 ・災害時の多重安全性確保のため、主要幹線道路の機能を補完、代替する道路交通ネットワークの構築が急務。
<u>その他について</u>	
●都市計画道路の整備率が低い	・財源の問題により整備率が上がらない現状がある。 ・現道のある国県道の拡幅整備が進まない。
●有料道路の料金が低い	・横浜横須賀道路など有料道路の利用料金が低いため、利用率が上がっていない。 ・企業の物流コストの負担増。

●老朽化に伴う維持管理の増大について

- ・今後着実な増加が見込まれる維持管理・更新費について財源の確保が難しい。(災害時の復旧や日常の維持管理費の捻出が厳しくなるなど、今後の既存社会資本の利便性・安全性等の確保にも支障。)

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

神奈川県 横須賀市

○道路交通ネットワークについて**首都圏構造に対応した広域幹線道路網の形成**

- ・ 広域幹線道路網の整備、接続点の充実
- ・ 広域交通の双方向性の確保

公共交通の利便性の向上

- ・ 公共交通の優先
- ・ 鉄道輸送力の強化
- ・ 地域間を連絡するバス交通の充実・定時制の確保
- ・ 市内の各地域を結ぶ公共交通機能の利便性の向上

安全で快適なコミュニティ内の道路の整備

- ・ 地域コミュニティの生活利便性の向上、防災機能の強化
- ・ 歩行者の安全性・快適性の確保、主要生活道路のネットワーク化

都市の骨組みをつくる幹線道路網の適正な配置

- ・ 市内各地域間、拠点間の連絡の円滑化
- ・ いきいきとした交流を支える幹線道路網の適正配置、整備
- ・ 市街地を分断している鉄道と幹線道路の改良整備

交通結節点の機能の強化

- ・ 鉄道と道路、広域道路交通などの接続性の向上
- ・ 交通結節点となるインターチェンジの整備、駅前広場の整備
- ・ 拠点商業業務地の自動車駐車場、駐輪場の整備
- ・ 物流拠点となる港湾施設から広域幹線道路網へのアクセス道路の整備・充実

○道路空間の整備に向けて**ユニバーサルデザインにも配慮した道路空間の整備**

- ・ 歩行者や自転車が安全・快適に利用できるユニバーサルデザインに配慮した道路空間の整備
- ・ 安全・快適に回遊できるような、街並み景観と調和した道路標識やサインの設置
- ・ 街路樹などのみどりとふれ合える道路空間の整備

○環境負荷の軽減に向けて**環境負荷の低減を促進する都市交通の実現**

- ・ 環境負荷の低減を促進する交通施設整備
- ・ 自家用車に過度に頼らない交通体系の推進
- ・ 円滑な交通流動を確保するための総合的な交通需要管理
- ・ 道路施設の計画的で適切な維持管理の実施

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

神奈川県 横須賀市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	首都圏構造に対応した広域幹線道路網の形成のため ・ 国道 357 号の既決都市決定区間の早期整備と南下延伸区間の早期具体化	・ 東京湾岸の新たな交通軸の形成による都市間連携の強化と多重安全性の確保 ・ 海岸部国道のバイパス機能による国道 16 号の混雑緩和 ・ 広域圏への交通利便性向上と地域活性化	
都市交通の快適性、利便性の向上	既存ストックの有効活用 ・ 横浜横須賀道路など有料道路の料金値下げ ・ スマート IC 制度実施要綱の対象路線の拡大について（一般有料道路への範囲拡大）	・ 東京横浜方面へのアクセス性向上 ・ 地域の交通利便性向上 ・ 経路の多様化による混雑緩和	
計画的、効率的な維持管理や更新の推進	国庫補助制度の改善 ・ 維持管理費における補助金制度の拡充や充当財源の大幅な見直し ・ 電線類地中化事業における新たな補助の制度の確立	・ 道路の維持管理に充当できる財源の確保 ・ サービス水準の維持保全 ・ 財源の確保 ・ 地中化整備延長の延伸	